

牛久市教育委員会 1月定例会会議録

1. 日 時 平成28年1月18日(月) 午後1時30分
2. 場 所 市役所本庁舎 第3会議室
3. 出席委員 後藤 雅宣・石井 美知夫・芦田 亜里香・染谷 郁夫
4. 委員以外
の出席者 教育部長 川井 聡
次長 中澤 勇仁
教育総務課 課長 川真田 英行
指導課 課長 村松 美一
児童クラブ課 課長 山岡 勉
文化芸術課 課長 手賀 幸雄
生涯学習推進室 室長 田中 雅司
中央図書館 館長 栗山 雄一
スポーツ推進課 課長 木村 光裕
教育総務課 課長補佐 戸塚 美幸
教育総務課 課長補佐 森田 明
第一幼稚園 園長 中村 恵子
指導課 課長補佐 山口 明
指導課 指導主事 原 成彦
文化芸術課 課長補佐 横瀬 幸子
生涯学習推進室 室長補佐 山越 義弘
スポーツ推進課 課長補佐 飯島 美博
スポーツ推進課 課長補佐 高橋 頼輝
5. 欠 席 教育総務課 課長補佐 富田 真幸
6. 会議録署名人 石井 美知夫
7. 議 題 議案第1号 牛久市通学区域審議会委員の委嘱について
諮問第2号 牛久市通学区域審議会への諮問について
8. 報告事項 報告第1号 専決第1号牛久市教育支援委員会諮問の追加について
報告第2号 牛久市教育支援委員会答申について

後藤委員長	(あ い さ つ) 開会を宣言する。
-------	---------------------------

<p>後藤委員長</p>	<p>会議録署名人 石井 美知夫 委員を指名する。</p> <p>それでは早速議事に入らせていただきます。</p> <p>議案第1号 牛久市通学区域審議会委員の委嘱について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>議案第1号「牛久市通学区域審議会委員の委嘱について」、ご説明申し上げます。</p> <p>通学区域審議会につきましては、市内小中学校の通学区域の適正化を期すためということで教育委員会の諮問機関として設置されております。通学区域審議会条例によりまして、委員の任期は1年とする。委員の内訳としましては、市議会議員、小中学校長、小中学校のPTA役員、学識経験者の中から委嘱するというを条例で定められております。</p> <p>今回、奥野地区の児童生徒減少問題に関して、通学を含めた議論をしていただくに当たりまして、委員の方、条例の定数といたしましては25名が上限という形になっておりますが、24名の方を選びまして委嘱いたしまして、明後日1月20日に審議会の開催を予定しております。</p> <p>内訳といたしましては、教育民生常任委員長の黒木のぶ子議員、あと小中学校長ということで校長会から石井会長並びに奥野小の鈴木校長先生と牛久二中の櫻井校長先生。PTA役員といたしまして奥野小から3名、牛久二中から3名、加えてPTA連絡協議会といたしまして牛久小学校の箭内PTA会長さん。あと、学識経験者という枠で奥野地区の区長さん全員と、あと区長会長さんとして岩野区長さんを入れて、合わせて24名の方々にご議論いただくようになります。ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>議案第1号について質疑を受けるが質疑なし。</p> <p>出席者全員の賛成を得る。</p>
<p>後藤委員長</p>	<p>続きまして、諮問第2号「牛久市通学区域審議会への諮問について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>諮問第2号「牛久市通学区域審議会への諮問について」、ご説明いたします。</p> <p>なお、諮問番号については、年度初めの委員会でいきなり2号というのは、実はこれの前に専決で諮問の1号が後ほどご報告として出てまいります。その関係でこちらが2号という形になります。後ほど、教育支援委員会の諮問で委</p>

	<p>員会に間に合わなかった分を専決させていただき、ご報告させていただきます。</p> <p>こちらの議案につきましては、先ほどご説明いたしました、牛久市内の通学区域についての諮問ということで、特に今後、奥野地区の児童生徒数の減少が見込まれるということに際しまして、奥野小並びに牛久二中の通学区域についてご審議いただくものでございます。</p> <p>具体的には、小規模特認校ということも見据えた中で、まずは試行的なことを来年やった場合にどういった影響があるのかというあたりをご審議いただく予定でございます。審議会開催後、審議の結果について答申が出されましたら、再度、教育委員会にご報告させていただきます。よろしく願いいたします。</p>
後藤委員長	<p>諮問第1号について質疑を受けるが質疑なし。 出席者全員の賛成を得る。</p> <p>続きまして、報告第1号「専決第1号牛久市教育支援委員会諮問の追加について」及び報告第2号「牛久市教育支援委員会答申について」であります、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条6項により、出席議員の3分の2以上の多数で議決したときにこれを公開しないことができます。本議案については非公開にしたいと思いますが、委員の皆さんにお諮りいたします。非公開とすることに賛成の委員の挙手をお願いいたします。</p>
後藤委員長	<p>全会一致で非公開に決定いたしました。</p>
後藤委員長	<p>以上で委員会の非公開を解除いたします。 以上をもちまして、本日の議事及び協議は終了といたします。</p>
後藤委員長	<p>続きまして、教育長の報告をお願いいたします。</p> <p>牛久市通学区域審議会への諮問文の内容について議論有。</p>
教育部長	<p>1月10日、11日と教育委員の皆様には成人式並びにシティマラソンに連日ご出席いただき、本当にありがとうございました。</p> <p>ご存じのとおり、特に成人式では水戸市、それから土浦市で大分壇上に駆け上がって式の進行を妨害するといったことがマスコミを騒がせて、水戸市では4人が逮捕されたというようなことになった。牛久市の場合がどうだったかと</p>

	<p>いいますと、やはり1部と2部の間に同じように壇上に上がってきて写真を撮らせるとかということで、一部演台が壊れたりマイクが壊されたりということもあったということも事実ではございます。</p> <p>これまでも成人式は非常に敏感にならざるを得ないところがあったのですが、私も今回、通算で7回目の経験ですけれども、さすがに壇上というのは初めてだったものですから、ちょっといささか驚いたということで、水戸市さんで成人式のやり方自体をちょっと検討しないといけないだろうということで委員会を設置するといった新聞の記事も出ているように、本来、成人式はどういうためにやっているんだらうということをもう一回、考えていかななくてはならないだろうと思います。</p> <p>ちなみに、指導課の原先生が今年恩師ということで龍ヶ崎に行かれたそうです。龍ヶ崎市さんは中学校単位でやっているということで、非常に厳かで私語もほとんどなくできていると。ただ、来賓としては教育委員を初め、来賓の方もそれぞればらばらで行くことにはなってしまうのですが、ああいった集団心理というのでしょうか、やはり一人二人だと何もできない子供も、ああやって集まると何かできてしまうということを考えてときに、学校単位での開催というのも1つの手段だと思えます。そういったことも考えていく必要があると考えます。</p> <p>例年のことですので、早急に結論を出す必要はないと思いますが、やはり毎年のことですので、少しそういったこともこの委員会の中で検討というか議論できたらいいなと思った次第です。</p>
後藤委員長	<p>次に次長からお願いします。</p>
中澤次長	<p>それでは、先ほども川真田課長からお話がありました通学審議会の件で、お手元にお配りさせていただきました資料の説明をさせていただきます。</p> <p>こちらは20日に通学審議会が開かれますので、そちらの場で、実はこれから1月末から2月にかけて各学校で保護者説明会、入学説明会が実施されるということで、先ほどお話ししました小規模特認校に絡めて、多くの地区で今やっていることを市内の保護者の皆様にお知らせするという文書になります。</p> <p>済みません、ちょっと読ませていただいていた方がいいですか。</p> <p>日ごろより、市教育行政、学校運営にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>牛久市では、現在、奥野地区における学校運営に関して、新たな取り組みを進めています。</p> <p>市東部に位置する奥野小学校と、隣接する牛久第二中学校は、児童生徒数の減少が顕著であり、通学区域の変更も難しく、小中学校ともに1学年1クラス</p>

	<p>のため、人間関係が固定化されることによる生徒指導上の課題、生徒数の減少による部活動の問題などが懸念されており、将来的には統廃合の対象となりかねない状況にあります。</p> <p>教育委員会といたしましても、これら諸課題の解決策の検討を始める中で、平成27年11月に文部科学省から「少子化に対応した活力ある学校教育推進事業の研究委託事業」という委託事業の公募があり、全国7地域の中の1つに選ばれ調査研究を進めているところです。</p> <p>「小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化」というテーマで、奥野小学校・牛久第二中学校が一体となった取り組みをスタートさせています。</p> <p>一例としては、奥野小学校と牛久第二中学校が隣接していることの強みを生かし、9年間の一貫した教育。奥野小学校ではALT（英語指導講師）による毎日15分のイングリッシュタイムの導入やオーストラリアのオレンジ市との交流、牛久第二中学校のALT2人体制による少人数授業や国内での英語宿泊学習なども計画しているところでございます。</p> <p>また、自然豊かな地域を生かした環境教育も大学やNPOと連携して行っています。</p> <p>そして、教育委員会としても児童生徒数や多様性を確保する観点から、奥野小学校、牛久第二中学校の通学区域を市内全域にする「小規模特認校制度」の平成29年度からの導入を検討しています。</p> <p>これらの奥野地区の学校の取り組みに興味関心がある保護者の皆様には、ぜひ、奥野小学校・牛久第二中学校の学校説明会に足を運んでいただければ幸いです、と文章をつづりました。</p> <p>そして、2面に、これは常陽新聞で昨年11月25日に奥野小学校の取り組みを記事として掲載していただいたもので、常陽新聞には、一応配る際にコピーしていいかということは確認をとって使わせていただけることになっております。</p> <p>それと、もう一点、カラー刷りで、こちらはパンフレットのようなチラシのような形なのですが、今回、ちょっとこれは牛久二中と奥野小学校の取り組みについて載せているのですが、とりあえずは奥野小学校だけです。これは後ほど、牛久二中も入れるように検討したいと考えています。</p> <p>こちらをご覧いただいて、これは各保護者説明会のときに、できれば配付していただきたいなと考えているのです。今週の通学審議会にもこういった文章は提出させていただこうと思っているのですが、もしご意見いただければ。</p> <p>この文書は、新入生も含めて何千人という子供全員に出すのですか。</p> <p>いや、違います。</p> <p>市内全部の新入生。新入生とは二中への入学もありますので6年生にも紹介</p>
教育長	
中澤次長	
部長	

中澤次長	<p>します。</p> <p>今まで、表立って、特認校というか、こういった取り組みはこちらから広報していなかったのです、教育委員会の文章なので、今回はかたい文書で進んでいきます。</p>
教育長	<p>まずは教育常任委員会での説明や、進め方は審議会での審議ですよ。</p>
部長	<p>通学区域の変更について、良い、悪いという意見をいただきたいと思います。決定は当然教育委員会ですけれども。</p> <p>従来の通学区域は変えないのですが、奥野と二中につきましては、市内全域から通学できるという、その受け入れ側になりますので、この地区に関する通学審議会は、市内のいろいろな地域から子供たちが来るといった状況を、まず奥野の地域として受け入れていかななくてはいけないので、明後日の審議会で、それに対してどんな意見をもらいますか。その意見を参考に、教育委員会として、通学区域を変更しようという決定をしていくわけですよ。</p>
教育長	<p>では、特例を認めて、4月から受け入れましょうというのは、また2月の話に戻せるのです。</p>
部長	<p>そうです。</p>
中澤次長	<p>決定ではない。あくまで意見をいただくということです。</p>
後藤委員長	<p>自分が親だったらという気持ちで考えたときに、英語教育の話と環境教育と何個も事例を挙げられているんですけども、それでは、一体どんなふう子供が育つかということを確認にしないと想像が付きにくい。こちらのカラー版を見ると、グローバルな人材の育成とも書かれているんですけども、英語の授業を増やせばグローバルなのかというのがちょっと分かりにくいのではないですか。</p> <p>むしろ、小規模であることの特徴を生かして、児童生徒一人一人に十分な対応を心がけるような学校経営を試行していきたい文章が入っていると、学力もちゃんと見てくれそうだなとか、それから心の不安定さの中にも対応してくれるのだなとかいう、何となく学校の姿みたいなものをいい形で想像できるんですけども。</p> <p>自然を生かした環境教育で、うちの子はどうなっちゃうのだろうかとか、英語の時間も多くてどうなっちゃうのだろうか、そういうふうにつまらぬ人いないか心配です。</p>

中澤次長	<p>そうしても大丈夫ですね。</p>
教育長	<p>一人一人に本当に丁寧な対応をしているのだよ。それは、心の面も学力の面も丁寧に対応してくれるということ。結果として、グローバルな人材を目指すのだと書きます。</p>
部長	<p>目的として、今、委員長がおっしゃったのがこういう教育をここでやるんですよということを、この文書の中で表現したほうがいいのではないかとのご指摘ですね。</p> <p>実は、我々、手段を前面に出していた部分があったので、手段はあくまでも手段でしかないのです。</p>
教育長	<p>ただ、一人一人に丁寧な対応するよというのは、それは目的を達成した姿なのか、手段かと言われると、手段でもあります。</p>
後藤委員長	<p>つまり、例えば、グローバルな教育と挙げるのであれば、学力の問題も挙げなきゃいけない、それから先ほど言いましたけれども、不登校気味なんだけれども、奥野にすればうまく上手にやってくれるのかなという期待の親御さんたちもあるかもしれないので、そういった人たちを市で全力を挙げて、この学校については、それなりに十分な手当てはしていきますよといったことをPRしないと。</p>
教育長	<p>つまり、奥野と二中で一貫した学校教育の目標が確かにはないんです。</p> <p>奥野の校長さんもイメージなさっている、小中一貫で英語もやり、E S Dという環境教育もやりながら、一人一人に丁寧に細かく指導しながら、目指すのはグローバル人材育成だということです。</p>
後藤委員長	<p>親の気持ちになると、学校の目標なんてあまり関心ありません。うちの子がそこに行ったらどう育つかという、その答えをにおわせるような、何か期待させるような何かが文書に入ってくるといいのかなと思います。</p> <p>この後、お知らせの文書の内容について議論有。</p>
後藤委員長	<p>正直に、ポジティブに広報しましょう。</p> <p>協力ありがとうございます。</p>

<p>後藤委員長</p>	<p>各課からの報告についてお願いします。</p> <p>生涯学習推進室 成人式について かるた大会について</p> <p>文化芸術課 小中学校芸術鑑賞会について 「うしくのひなまつり」について</p> <p>児童クラブ課 土曜カップ塾について</p> <p>指導課 いじめ問題対策連絡協議会について 牛久小学校の交通安全教育優良学校賞受賞について</p> <p>教育総務課 幼稚園運営協議会について</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>私からは、12月17日に開かれました第1回目の幼稚園運営協議会について簡単にご説明させていただきます。</p> <p>お手元に会議録を配らせていただきました。まだちょっと署名前なのですが、若干ちょっと修正があるかもしれないという前提で取り組みをさせていただきます。</p> <p>第1回目ということで、事務局と学識経験者、そして茨城大学教育学部の新井英靖先生に入っていておりましたが、こちらから基調講演、基調講義的にいただいた後に、議案を進めました。</p> <p>事務局からは、公立幼稚園第一、第二のこれまでの歴史的なものと、あと中根小学校に移動した経緯、さらには今回、保護者からいろいろ不安の声が上がってきたといったような状況についてご説明させていただきました。</p> <p>新井先生からは、個別の問題にかかわらず、全国的な傾向ですとか、アメリカで行われた就学前教育の大規模調査というものに触れられて、幼児教育に対してコストをかけることが非常に効果的だと、よい教育が非常に犯罪をなくす、また子供の貧困、所得格差を是正するといった中で、ここへの投資というのは最も効果的であるということをご紹介いただきました。また、子ども・子育て支援新制度を踏まえた幼児教育の推進として、幼保小連携に関する情報を一元的に提供するようなセンター、幼児教育センター的な場所も必要ではないかといったような講義の内容となっております。</p> <p>会長、副会長の互選があったのですが、会長については石神委員、副会長に新井先生という形でお願いいたしました。事務局一任の声がありましたので、事務局でご提案させていただきました。</p> <p>石神会長から全ての委員に1回ずつ必ず振って、全員の委員からご意見をいただきました。保護者の委員からは、やはり公立幼稚園のよさと魅力といったところを中心にご発言がありましたし、保護者の方から預かってきたということで手紙をそのまま文書として読み上げたりといった状況もございました。</p> <p>また、のぞみ園の馬場委員からは、やはり幼児教育の中で特別支援というは</p>

っきりした枠組みはないけれども、そういった中でも幼稚園、保育園の選択肢が多いということが非常に重要であるといった話であったり、箭内委員が、牛久小のPTA会長ですが、幼保小連携の姿をあちらで見ていて、やはり学校の敷地内に保育園と小学校があるのは非常にいいというような発言もございました。

ちょっと1回目の説明のときには、財政的な説明、ちょっと資料は用意してあったのですが、そこが抜けてしまった中で、公立幼稚園が非常に良いというようなお話に、皆さんの委員からご意見が寄せられたといったところでございます。

第2回を明日の10時から第三分庁舎で行うんですが、今回につきましては、まず事務局から幼稚園の収支的な状況であったり事業量的な状況であったりというものを、現状をありのまま、まず、ご説明させていただいた後で、第一幼稚園の存続についてということと、仮に存続といった場合に、いろいろな場所的なものの想定があるかどうかというあたりでご意見をいただくということで考えております。

第3回目が、ちょっと日付が定かでないのですが、2月後半にもう既に設定してございまして、その段階で中間答申ということでまず第一幼稚園の今後についてという中間答申をいただく予定であります。その後に、引き続いて議論いただいて、公立幼稚園のあり方、どうあるべきかというあたりを時間をかけて翌年度に入っても議論いただくという予定でございまして。

以上です。

中央図書館
スポーツ推進課

「としょかんだより」について
マラソン大会について

後藤委員長

ありがとうございました。

それでは、1月定例会を終了といたします。

2月の定例会は2月15日、分庁舎第2会議室、10時45分での開催となります。

お疲れさまでございました。